

令和5年度 日野市立日野第七小学校経営重点計画				自己評価シート		令和5年6月公表
★学校の教育目標				◎自ら考え学び続ける子 ◎思いやりをもち行動する子 ◎心と体の健康をつくる子 ◎協働してやりぬく子		★重点計画の概要 50周年を機に予測困難な時代を生きていく子供たちのめざす姿を協議し、今年度、40年ぶりに学校教育目標を改訂した。目標達成のための根幹となるのが“いのち”であり、すべての児童が安心安全のもとに“学び”“健康”といった教育活動を行っていく。それを支えるのが“地域”をステージとした学びであり、“特別支援”教育、教員の“働き方”改革となる。
★目指す学校像（ビジョン）						
【めざす児童像】		○自ら課題を見つけ、考え、自分の力で学び続ける児童 ○運動に親しみ、心身ともに健康・安全に気を付けて生活する児童		○友達や周りの人への思いやりの心もち、行動する児童 ○何事にも挑戦し、みんなで協働して最後までやりぬく児童		
【めざす学校像】		一人一人を大切に、みんなの笑顔がはじける学校				
【めざす教師像】		○すべての児童を大切にし主体的な学びを育む教師 ○保護者・地域とつながり創造的に教育活動を行う教師 ○常に授業改善に努め協働して高め合う教師				
領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	取組指標		成果指標
いのち	児童が教育活動全般を通して、自他の“いのち”を大切にし、互いの人格を尊重して認め合う態度を育てる。	様々な人との関わりによって豊かな人間性を育み、思いやりのある行動で一人一人が大切にされ、児童が自己有用感を得られるようにする。	○当番活動や係活動など学級活動を中心に、委員会活動やクラブ活動においても自己有用感を育む教育活動を展開する。 ○学校・学級で挨拶運動に取り組み、場に合った言葉遣いを指導することで、人との関わり方を身に付けさせる。 ○たてわり集会やたてわり学習などを中心とした異学年交流を通して、「思いやりの心」をもち、行動する児童」を育てる。 ○週1回の読書タイムや学期1回の読書週間、地域サークル「たねのたね」による読み聞かせを通して、豊かな情操を育む。	4 「一人一人が大切にされ、自己有用感を得られる学級活動（特別活動）をしている」教員が100%	4 「わたしは、自分や友達の良いところを見付けるようにしている。」児童の肯定的回答90%	
				3 「一人一人が大切にされ、自己有用感を得られる学級活動（特別活動）をしている」教員が90%	3 「わたしは、自分や友達の良いところを見付けるようにしている。」児童の肯定的回答85%	
				2 「一人一人が大切にされ、自己有用感を得られる学級活動（特別活動）をしている」教員が80%	2 「わたしは、自分や友達の良いところを見付けるようにしている。」児童の肯定的回答80%	
			1 「一人一人が大切にされ、自己有用感を得られる学級活動（特別活動）をしている」教員が80%未満	1 「わたしは、自分や友達の良いところを見付けるようにしている。」児童の肯定的回答80%未満		
		いじめや不登校の未然防止・早期発見に努め、組織的な対応で早期の解消・解決に向けた取組をし、児童が安心して学校に來られる人間関係・教育環境づくりをする。	○人権教育全体計画及び年間指導計画をもとに全学級で指導を行い、「いのち」の大切さに気づき、自分の良さ・相手の良さを見付けられる児童を育てる。 ○年3回のふれあい月間において全児童にアンケート調査を実施し、いじめの早期発見に努めると共に、いじめ防止の教職員研修を実施する。 ○定例で年3回の他、随時いじめ対策委員会を開催し、組織的な対応を図る。 ○5年生を対象にSOSの出し方教室、SCIによる全員面談等を行う他、道徳の授業を中心にいのちの授業を展開する。	4 「いじめや不登校の未然防止に努め、組織的に対応してる。」教員が100%	4 「わたしは、『まいにち笑顔みんなが笑顔』で過ごしている。」児童の肯定的回答90%以上	
				3 「いじめや不登校の未然防止に努め、組織的に対応してる。」教員が90%以上	3 「わたしは、『まいにち笑顔みんなが笑顔』で過ごしている。」児童の肯定的回答85%以上	
				2 「いじめや不登校の未然防止に努め、組織的に対応してる。」教員が80%以上	2 「わたしは、『まいにち笑顔みんなが笑顔』で過ごしている。」児童の肯定的回答80%以上	
			1 「いじめや不登校の未然防止に努め、組織的に対応してる。」教員が80%未満	1 「わたしは、『まいにち笑顔みんなが笑顔』で過ごしている。」児童の肯定的回答80%未満		
学び	個別最適な学び（自立的に学びを進める学習）と協働的な学び（学校ならではの対話を生かした学習）の一体的な充実を図る。	児童が、個別最適な学びや協働的な学びを進められるように、指導方法や教材・教員を工夫し、多様な学習活動や学習課題を取り込んだ授業改善を行う。	○児童が自立的な学びを進めるための授業改善を、すべての教員が自己申告書記載し、年間を通して取り組んでいく。 ○年2回の授業観察では、作成した指導案及び授業予定を全教員で共有し、相互に授業観察ができるようにする。授業後は、個別最適な学びと協働的な学びの視点で改善案を協議する。 ○校内研究では総合的な学習の時間及び生活科を中心に、年3回の研究授業を行い、探究する児童を育てるための授業デザインを研究していく。	4 「児童が自ら課題をもち、自立的に学び進める学習を展開している。」教員が100%	4 「先生は、自立的な学びや対話的な学びの授業を行っている。」保護者の肯定的回答が100%	
				3 「児童が自ら課題をもち、自立的に学び進める学習を展開している。」教員が90%	3 「先生は、自立的な学びや対話的な学びの授業を行っている。」保護者の肯定的回答が95%以上	
				2 「児童が自ら課題をもち、自立的に学び進める学習を展開している。」教員が80%	2 「先生は、自立的な学びや対話的な学びの授業を行っている。」保護者の肯定的回答が90%以上	
			1 「児童が自ら課題をもち、自立的に学び進める学習を展開している。」教員が80%未満	1 「先生は、自立的な学びや対話的な学びの授業を行っている。」保護者の肯定的回答が90%未満		
		一人一台端末の積極的活用と、ICT機器及び情報の良き利用者としてのデジタル・シティズンシップ教育を推進する。	○GIGA担当を教務部に組み込み、検討・研修のための時間を確保し、学期に1回の研修会をおとして教職員の活用率を上げる。 ○年間指導計画を見直し、すべての児童が一定以上の活用ができるようにする。 ○道徳授業やセーフティ教室において情報モラルの涵養を図るとともに、学期に1回のすこやか週間において、児童が自身のデジタルバランスを考える機会を設ける。 ○SNS子供会議を開催し、主体的なよき利用者への意識を高める。	4 「一人一台端末を活用し、児童の学習意欲を高めている。」教員が100%	4 「先生は、一人一台端末を活用し、児童の学習意欲を高めている。」保護者の肯定的回答100%	
				3 「一人一台端末を活用し、児童の学習意欲を高めている。」教員が90%以上	3 「先生は、一人一台端末を活用し、児童の学習意欲を高めている。」保護者の肯定的回答95%以上	
				2 「一人一台端末を活用し、児童の学習意欲を高めている。」教員が80%以上	2 「先生は、一人一台端末を活用し、児童の学習意欲を高めている。」保護者の肯定的回答90%以上	
			1 「一人一台端末を活用し、児童の学習意欲を高めている。」教員が80%未満	1 「先生は、一人一台端末を活用し、児童の学習意欲を高めている。」保護者の肯定的回答90%未満		
健康	生涯にわたり心身ともに健康で安全な生活の基盤づくりをする。	体育の授業改善や休み時間等における運動の日常化を図ることで運動好きな児童を育てるとともに、児童が感染症予防や交通安全等、自分で自分の身を守るようにする。	○体力テストの結果を分析し、2学期以降の体育授業に生かしていく。 ○休み時間には外で遊ぶ習慣を付けさせ、健康や体力の保持増進に努める。 ○毎月1回の体育朝会において長縄記録会を行うことを通して、運動の日常化を図る。 ○感染症や熱中症における対応を自己判断できるよう指導する。	4 「ねらいを明確にした体育授業を行ったり、健康に関する指導をしている。」教員が100%	4 「子供は、運動への関心を高めたり、健康を意識して過ごしている」保護者の肯定的回答90%以上	
				3 「ねらいを明確にした体育授業を行ったり、健康に関する指導をしている。」教員が90%以上	3 「子供は、運動への関心を高めたり、健康を意識して過ごしている」保護者の肯定的回答85%以上	
				2 「ねらいを明確にした体育授業を行ったり、健康に関する指導をしている。」教員が80%以上	2 「子供は、運動への関心を高めたり、健康を意識して過ごしている」保護者の肯定的回答80%以上	
				1 「ねらいを明確にした体育授業を行ったり、健康に関する指導をしている。」教員が80%未満	1 「子供は、運動への関心を高めたり、健康を意識して過ごしている」保護者の肯定的回答80%以上未満	
地域	地域で学び、ともに活動することで、自らすすんで地域社会に関わろうとする態度を育てる。	地域をステージとして学び・地域人材を活用することにより、創意工夫のある教育活動を展開し、学校を中心としたコミュニティ作りにつなげていく。	○＜自然環境＞SDGsに関する学習を通して社会参画意識の醸成を図る。（生活科・総合的な学習の時間 等） ○＜教育機関＞幼保小連携、大坂上中学校との9年間の学びの連続性、日野台高等学校・実践女子大学と連携し、深い学びへと広げていく。 ○＜官公庁等＞市役所や消防署等の官公庁や、市内企業との連携・ゲストティーチャー活用することで探究的な学習を展開する。 ○50周年事業において地域とのつながりを楽しみながら、学校および七小地域、日野市への愛着を育む。	4 「地域をステージとした学習を展開し、地域への思いを育んでいる。」教員が100%	4 「学校は、外部人材を活用したり地域に関わる活動を行っている。」保護者の肯定的回答90%以上	
				3 「地域をステージとした学習を展開し、地域への思いを育んでいる。」教員が90%以上	3 「学校は、外部人材を活用したり地域に関わる活動を行っている。」保護者の肯定的回答85%以上	
				2 「地域をステージとした学習を展開し、地域への思いを育んでいる。」教員が80%以上	2 「学校は、外部人材を活用したり地域に関わる活動を行っている。」保護者の肯定的回答80%以上	
				1 「地域をステージとした学習を展開し、地域への思いを育んでいる。」教員が80%未満	1 「学校は、外部人材を活用したり地域に関わる活動を行っている。」保護者の肯定的回答80%以上未満	
特別支援	誰も置き去りにしない精神のもと、特別支援教育のさらなる充実を図る。	「ひのスタンダード」やユニバーサルデザインの視点に立った授業の展開や環境整備をするとともに、校内委員会の充実を図り、組織的な教育支援体制を構築する。	○「焦点化し、ねらいをはっきりとつかませる」「視覚支援をする」「共有する」などの「ひのスタンダード」及びUDの視点に立ち、分かる授業を創造するとともに、学校・学級環境の整備をする。 ○校内委員会を毎週開催し一人一人の状況を学校全体で把握することで早期に組織的な対応を行えるようにする。 ○ステップ教室・リソースルームの担当者、及び保護者との連携を密にし、指導目標を明確にすることで個に応じた指導の充実を図る。	4 「ひのスタンダードやUDの視点に立った授業展開、教室環境の整備をしている。」教員が100%	4 「学校は、落ち着いた環境で誰にでも分かりやすい授業を工夫している。」保護者の肯定的回答85%以上	
				3 「ひのスタンダードやUDの視点に立った授業展開、教室環境の整備をしている。」教員が90%	3 「学校は、落ち着いた環境で誰にでも分かりやすい授業を工夫している。」保護者の肯定的回答80%以上	
				2 「ひのスタンダードやUDの視点に立った授業展開、教室環境の整備をしている。」教員が80%	2 「学校は、落ち着いた環境で誰にでも分かりやすい授業を工夫している。」保護者の肯定的回答75%以上	
				1 「ひのスタンダードやUDの視点に立った授業展開、教室環境の整備をしている。」教員が80%未満	1 「学校は、落ち着いた環境で誰にでも分かりやすい授業を工夫している。」保護者の肯定的回答75%未満	
働き方	教職員が明るく健康に働くことで、教育活動の質的向上を図る。	教職員の年間超過勤務時間を減らすとともに、年休取得率を上げること、ライフ・ワーク・バランスを推進する。	○週1回学年会の設定、一部教科担任制の導入により、学習指導・保護者対応等をチーム学年として行う。 ○時間講師の配置やゲストティーチャーの活用により時間を生み出す。 ○ライフ充実デー（年休取得）、プレミアムデー（午前授業・会議なし）を設定し、教員の充実した時間を確保する。 ○毎月の超過勤務時間を確認し、月上限時間を超えている教員とは面談をおして職務の把握と整理をする。 ○スクールサポートスタッフの積極的活用を進め、事務作業の軽減を図る。	4 「ライフ・ワーク・バランスを意識し、健康に職務にあたっている。」教員が100%	4 「学校の教育活動は、生き生きとして『みんなが笑顔』が感じられる。」保護者の肯定的回答100%	
				3 「ライフ・ワーク・バランスを意識し、健康に職務にあたっている。」教員が90%以上	3 「学校の教育活動は、生き生きとして『みんなが笑顔』が感じられる。」保護者の肯定的回答95%以上	
				2 「ライフ・ワーク・バランスを意識し、健康に職務にあたっている。」教員が80%以上	2 「学校の教育活動は、生き生きとして『みんなが笑顔』が感じられる。」保護者の肯定的回答90%以上	
				1 「ライフ・ワーク・バランスを意識し、健康に職務にあたっている。」教員が80%未満	1 「学校の教育活動は、生き生きとして『みんなが笑顔』が感じられる。」保護者の肯定的回答90%未満	

※評価指標・評価基準は、2の段階を現状としています。